



第11号 2018年8月発行 はつかいち市民図書館



7月に新しく入った本



読んだ or 予約したら☑



ほりべやすべえ
□「新装版 堀部安兵衛」上・下

池波正太郎/著 角川書店 2006.2
BFイ (はつかいち)

越後・新発田藩の家来、中山弥次右衛門の一人息子、安兵衛は力による争いごとより学問を好んでいた。が、父の非業の自死を見届けた瞬間、新たな運命が幕開ける――。

うしゅう とびぐみ ぼさつばな
□「羽州ぼろ鳶組 5 菩薩花」

今村翔吾/著 祥伝社 2018.5
BFイ (はつかいち・さいき)

松永源吾は他の火消から手柄を奪おうとする仁正寺藩火消の姿を目にする。そんな折、火消による付け火を疑う読売書きが姿を消し…。

★1巻 (2017年3月刊) 貸出回数 21回

ことうじ つばきお
□「新・酔いどれ小籐次 11 椿落つ」

佐伯泰英/著 文藝春秋 2018.7
BFサ (はつかいち・さいき) B913.6サ (大野)

伊勢参りで出会った三吉が、「強葉木谷の精霊」と名乗る謎の相手に付け狙われた。三吉を救うため、小籐次と駿太郎は死闘を繰り広げる。

★1巻 (2014年8月刊) 貸出回数 203回

くげむしやのぶひら ひえいざん おに
□「公家武者信平 3 比叡山の鬼」

佐々木裕一/著 講談社 2018.6
BFサ (はつかいち)

久しぶりに上洛した信平は、帝から將軍家との縁を一層深めよとの激励を受ける。しかし、師匠の道謙は剣鬼に斬られ床に伏せていた。

★1巻 (2017年10月刊) 貸出回数 21回

くちいれやようじんぼう ぐんじょういろ なみ
□「口入屋用心棒 41 群青色の波」

鈴木英治/著 双葉社 2018.6
BFス (はつかいち)

謎の読売屋主人・庄之助に叩きのめされた湯瀬直之進は、庄之助の影に苛まれていた。倉田佐之助は庄之助の正体を探る役目を買って出る。

★1巻 (2005年7月刊) 貸出回数 337回

□「維新始末」

上田秀人/著 中央公論新社 2018.7
BFウ (さいき)

天保の改革から二十年。關所物奉行を辞した神扇太郎は、御家人として平穏な日々を暮らしていたが…。「關所物奉行裏帳合」シリーズに連なる書き下ろし。



裏面へつづく!



読んだ or 予約したら☑

「そうしろうじゆんけんたん 聡四郎巡検譚 2 けんだん 検断」

上田秀人/著 光文社 2018.7
BFウ (さいき)

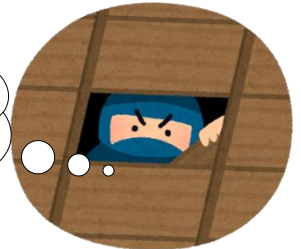
將軍徳川吉宗に直々に命じられて道中奉行副役となった水城聡四郎。役人に衝撃の事実を知らされた後、駿府を出た聡四郎は刺客に襲われ…。

★1巻 (2018年1月刊) 貸出回数 19回

貸出中の本や、他館にある本は予約することができます！

「予約・リクエストカード」にご記入の上、カウンターへお出してください。

用意ができたなら
連絡するでござる！



「ちやうじりやしおき 帳尻屋仕置」 1 ~ 7 坂岡真/著 双葉社 BFサ (さいき)

1 つちかぜ 「土風」 2015.11

神田馬ノ蔵横丁で口入屋を営む蛙屋忠兵衛には、女房も知らぬ裏の顔があった。

2 ばばおど 「婆威し」 2015.10

大川で小舟に並んだ若い男と後家貸しの女の屍骸を発見した忠兵衛。ただの相対死と思えず調べ始めるが…。

3 どんとう 「鈍刀」 2016.7

浪人・荒岩三十郎の篤実な人柄と確かな剣の腕に信を置いた忠兵衛は、仲間にくわえようところみるが…。

4 おちひばり 「落雲雀」 2016.11

忠兵衛率いる帳尻屋の仲間として数々の修羅場を潜ってきた琴引又四郎に、思わぬ決断のときが訪れる。

5 きやうぞく 「凶賊」 2017.7

為替両替商の一家惨殺事件が起きた。賊を探そう命じられた忠兵衛は島帰りとおぼしき男を目にし…。

6 ほづら 「吠え面」 2017.11

帳尻屋の仲間である柳橋芸者のおくうに縁談が持ち上がるが、相手の男が行方知らずになり…。

7 げきとつ 「激突」 2018.7

天明7年。裏の役目の命は下されず、忠兵衛は東の間の平穏を味わっていたが…。シリーズ最終巻。



次回発行は
9月上旬予定
でござる！